学校番号	1204

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校標準「古典Ａ」　（第一学習社　出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ

・２年生で行った国語総合古典分野を発展的に学習します。興味関心を持って自主的に学習する姿勢を身につけましょう。
・授業の前に自分で本文を読んでおきましょう。分からない言葉は古語辞典や漢和辞典を用いて、事前に調べておくとなお良いでしょう。
・古文分野では説話、日記文学、物語、随想と幅広く学習します。当時の人々のものの見方や感じ方に気づき、現代に生きる私たちとの異同を学びましょう。
・漢文分野では三国志や項羽と劉邦の物語を読解します。２年生で行った訓読の規則をしっかり復習しておいて下さい。
・授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。			古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身に付けている。	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	説話文	十訓抄 古今著聞集	○			◎	○	a 比較的短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 d 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e 機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・定期考査
	物語1	竹取物語 伊勢物語	○			◎	○	a 昔話としてなじみのある作品を読んで、古文に親しむ。 d 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e 機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に理解を深める。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・定期考査
二学期	漢文	故事・寓話	○			◎	○	a 短めの文章を読んで漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 d 故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。 e 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・定期考査
	漢文2	三国志の世界	○			◎	○	a 少々長い文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 d 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e 魏・呉・蜀三国の興亡についての概要を知る。本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。反語・否定（二重否定）などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・定期考査
	物語2	大和物語 源氏物語 大鏡	○			◎	○	a 長編物語を読んで、話のおもしろさを理解する。 d 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 e 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・定期考査

	随想	枕草子	○			◎	○	a 随筆を読んで作者の思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察する。 d 優れた表現を読み味わう。 e 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・定期考査
三学期	漢詩	漢詩の鑑賞	○			◎	○	a 漢詩の表現の美しさを味わう。漢詩のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確に捉える。 d・詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解する。 e 漢詩のきまり、特に近体詩の詩形・押韻・構成・対句について理解する。 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・定期考査
	漢文	項羽と劉邦	○			◎	○	a 長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 d 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 e 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。